

ガブリエラ・ラモス氏特別講演・学生対談会

国際的なAIガバナンスと倫理

ガブリエラ・ラモス氏を招いての特別講演・学生対談会を開催します。ラモス氏は、2020年から2025年までユネスコ社会・人間科学担当事務局長補を務め、その前にはOECD首席補佐官兼G20・G7のシェルパとして活躍した人工知能（AI）に関する国際合意の形成と進展に重要な役割を果たしてきました。また、194カ国に適用され、70カ国以上で実施されている「グローバル・デジタル・コンパクト」の採択を監督するリーダーシップを発揮し、AIの倫理などに関する問題を取り扱ってきました。技術的な能力の構築を支援し、AIの多岐にわたる側面に関する立法支援や、この変革プロセスを管理する機関の設立にも貢献しました。ラモス氏は、Universidad Iberoamericanaで国際関係学の学士号、ハーバード・ケネディ・スクールで公共政策学の修士号を取得しています。現代生活のあらゆる側面におけるAIの影響について議論するこの時宜を得た本イベントにぜひご参加ください

2025年6月19日(木)

15:00 – 17:00

(14:30 受付開始)

会場：東京大学 本郷キャンパス

小柴ホール

言語：英語（同時通訳はありません）

講演者

Gabriela
Ramos



開会挨拶

- 福士謙介（東京大学 未来ビジョン研究センター センター長・教授）
- メルバ・プリーア（駐日メキシコ大使）

学生との討議

- ガブリエラ・ラモス（元ユネスコ社会・人間科学担当事務局長補）
- 西村英俊（東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)最高顧問）

閉会挨拶

- 坂田一郎（東京大学 総長特別参与）

司会

- 華井和代（東京大学未来ビジョン研究センター 特任講師）

お申込み:

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/20626/>

お問い合わせ:

ifi_iaiged_event@ifi.u-tokyo.ac.jp